福生新聞

発行所
福生町志茂映画館前
福生新聞社
電話福生422番
発行人　川上作司

瑞穂町の合併参加を期待して

福生西多摩は三カ町村合併を議決

西都町村合併に対する各町村の態度はそれぞれ町村議会を開いて都知事よりの諮問に答申を議決、十六日の都議会に上提された。

第一ブロックでは、成木、曾木、吉野、三田の四ケ町村が青梅市に合併し人口五三、一六六の大青梅市が実現することになり、古里村は氷川町と合併、小河内村の合併を待つて人口一六、二八七の大きな氷川町となる更に小河内村は山梨県側の丹波山、小菅の両村の編入に対しては都側が山梨県側と接衝することになつている。

以上第一ブロックの一市七ケ町村は青梅市と氷川町（あるいは町名変更されるかも知れない）と大きく一市一町に合併されることになつた。

第三ブロック五日市町を中心とした南部八ケ町村中、大久野、平井の両村は合併して一ケ村となり増戸、戸倉、小宮の三ケ村は五日市町と合併、大五日市町を形成、桧原村は区域が広い山間地ということで一ケ村単独として都が保護育成を図ることになるらしい。

西秋留村は多西、東秋留三ケ村の合併すべしとなす都の案であるが多西、東秋留村はすでに両村の合併を調印した後なので、多西、東秋留両村の合併だけを答申したがこれでは西秋留村一ケ村が浮いてしまうというので都の審議会が仲に入り三ケ村の合併の斡旋を図るものとみられる。

福生は二町三カ村合併を将来に期待

町村合併に対し福生町では当初より西多摩郡の咽喉を扼している第二ブロック即ち福生、瑞穂、西多摩、多西、東秋留の二町三ケ村が大きく合併することを提唱し関係町村によびかけて来たが多西、東秋留両村は村内事情から一応両村だけの合併となり、瑞穂町は埼玉県の元狭山村との合併だけを決議したので二町三ケ村の合併は現在では出来なかつたが、自然的な環境からと将来都市的発展は当然であるから、人口三万以上で市制施行が出来なかつた場合は人口五万を目途とした市制施行の線を崩さず押し進める努力が今後共続けられるものとみられる。

福生町は西多摩村の申し入れに全面的に同調

西多摩村は人口の点では最低基準八千を越え一応合併該当町村にはなつていないが、他町村が大きく合併してしまつた現在一万そこそこの小さな村が単独で行くことはこの際合併した町村に挿されてしまい今でさえ困難な村財政を一層窮迫に追い込む結果を招来することを心配しこの際単独論を放てきして福生、瑞穂の両町と合併市制施行の腹を決め部落会を開いて一般村民の意向を叩いたところ合併に関しては大体賛成のようであつたので村議会は三ケ村合併市制施行という線を打ち出して福生町、瑞穂町に話し合いを呼びかけたのである。

西多摩村から三ケ町村合併の話し合に接した福生町は、もと〳〵第二ブロック二町三ケ村の大同団結を早くから関係町村に申し入れていた関係もあつたのでこの西多摩村の申し入れに対しては全面的に賛意を表し同調した。

瑞穂の誤解がとけ三町村の合併を期待

瑞穂町の合併問題に対する議会での答申決議は元狭山村と合併する……とすることだけで、本筋の三ケ町村の合併には全然ふれていなかつたことは残念であつた。

瑞穂町と元狭山村との合併は円福寺の豆まきから既に始まつたといわれ、爾来瑞穂町は元狭山村90%の住民署名簿を添えて合併申し入れがあつてから急速調に進み、両町村の合併の調印まですませたがどうやら元狭山村の東京都編入に対しては埼玉県側に非常な難色がありその実現性はまづ薄いとの見方が強い。

然し瑞穂町としては両町村の合併を既に調印約束した以上例えそれが見透しが悪いからといつて今更引くこともできまいからトコトンまでやるだけはやる……は当然のことであろう。

併し合併問題に元狭山だけが瑞穂町として当面している問題でなく西多摩、瑞穂、福生の三ケ町村の合併という……本筋の問題をもつと掘り下げて真剣に取つ組むべきであろう。

ただ単に熱海会談をドジヨウになつた……とか、福生に買収された……とか表面だけをみて難くせをつけて一賦せず、どういう性質の会合で、その会合の席上どんなことが話されたかをよく出席した議員諸君から、すなおに聞きそれが瑞穂町の将来のために良いことなら、たとえそれが結論づけられていても改めるに何んのはばかりはないものと思う。西多摩、瑞穂、福生の三ケ町村は町村財政面では競輪事業を通じて今後共連りを持ち、火葬場、病院関係では事務組合を通じ村政とつながり、横田基地接収については三ケ町村とも共通な利害を持つている。

基地の拡張も八高線までの拡張は既定の事実だから止むを得ぬとしても、それ以上の拡張は三ケ町村の発展のためにも食い止めるよう努力もせねばなるまい。目下政府に申請中の二町三ケ村を一丸とする都市計画の設定では、福生—瑞穂、西多摩—瑞穂に通ずる所謂箱根街道はその幅員の拡張、その中間に都営住宅を三、四ケ所を設定して住宅街を建設して瑞穂町に厚みを持たせ購買力を増させる等の腹案も木崎都議は持つているらしい。

町村の発展は自然発展を待つていてはそれこそ十年一日の如く遅々として進まないが、人為的施策によつて或程度その発展を早め、それを助長させることは可能なのである。

こうした意味から三ケ町村の合併は瑞穂町の将来の為めには絶対必要な問題なのに、瑞穂は元狭山とだけ合併していれば、それで良いんだと三ケ町村合併問題はテンから問題にせず反対をブチ、議会がこの問題を取りあげて検討することさえこばみ、強いて研究をすることは町民の意志を無視するんだからリコールだ……とおどかし理屈抜きの反対……という態度は残念なことである。

もつと謙虚で、しかもすなおに、瑞穂町全体の将来を決定することは議会人に或程度研究する時間を与えるべきであろう。

次期都議戦には木崎氏一本か!!

改進党西多摩支部決定

木崎氏の都議立候補辞退申出は福生町地元を始め都内に大きな反響を及ぼしたが改進党西多摩支部は去る十日午後一時より牛浜幸楽に再度の総会を開催して、遂に木崎氏の個人的申出にかかわらず同党としては全町村有力者の推薦制でも立候補させるとの意見を再確認して満場一致三期立候補を決定した。

木崎氏は二期八ケ年間超人的な活躍を示して地元の大きな期待にそつてきたのでこの辺で少し休養して適当な機会に並木代議士とともに衆議院選に打つて出る考えであつたものと思えるが、当日の同党の幹部は木崎都議の勇退によつては今日まで築きあげた改進党の地盤が崩壊してしまうのみならず地元のためには衆議院よりも都議会に送つて議長にでも推し上げ、今一期活躍させたいとの強い意見であつたようである。

なお当日は並木代議士よりも適当な機会に二人手をとつて衆院選に立候補したいが今一期だけは都議会で活躍してほしい旨の意見開陳があつたとのことである。

木崎氏の三度立候補確実となると同氏の過去二回の選挙戦と都議会での大きな実績から圧倒的な支持となつてくるので都部二名目算での都議選立候補者の動向も相当変つてくるものと考えられる。

瑞穂で問題になつた所謂熱海会談

福生、西多摩、瑞穂の三ケ町村の町村長正副議長、常任委員長は競輪事業学校建設補助その他一部事務組合等の事務打合せを利用しつね日ごろ三ケ町村は何かとお骨折を願つている関係もあるのでお礼をかねて一夕木崎都議を熱海に招待した。

席上木崎都議から

一、福生、瑞穂、西多摩、多西、東秋留の二町三ケ村は都市計画区域の指定を政府に申請中でやがてそれが認可された場合都市計画の実施が予想され道路、橋梁、公園、市街地、住宅地、工場、緑地帯等総合施策が計画される。

一、とくに福生、瑞穂、西多摩の三ケ町村は競輪事業、火葬場その他一部事務組合を組織し町村政ならびに町村財政の連りは緊密な関係におかれている。

一、都の審議会試案では、この三ケ町村はいずれも人口八千をこえ一応合併該当町村の列からははずされてはいるが、人口八千以上という線はその基準であつて一万そこ〳〵の人口では、これから先の町村運営は適正規模だとはいえない。

都行政部の資料によつてみても人件費のベースアップ、物価の上昇の現在では、町村民自体の負担する税金収入はそのほとんどが役場費、議会費に費われ、住民の福祉の為めに使用される金はどこの町村も僅少で町村によつては町村の自己財源は全部役場費議会費に喰われてしまつている実状にあるそこで政府は交付税、特別交付税制度で辛じて地方自治体の財政破たんを防いでいる状況下にある。これを三カ町村で検討してみても自己財源で賄える比率は福生町が大体六千五百万円の予算に対し58%、瑞穂町が三千五、六百万円に対して52%、になつている。

一、政府は町村合併を促進させる意味と更に合併した町村を育成するという建前から合併した町村に対しては、いろいろな特典を与えることに法律で決めてある、特に合併町村の運営の原動力となる町村財政の面では起債補助金等は優先的に考慮されるし、一般交付金（現在は交付税となつた）は一応合併しない町村でも総花的に割振りされるが特別交付金の方は大きく手心が加えられるようになろう。

こうしたことを考えると福生、西多摩、瑞穂の三ケ町村は人口の点では一応単独で差支えないことにはなつているが、町村自体将来の為めには、この際出来得ることなら合併して将来の発展に備えるべきが賢明だと確信して是非お奨めしたい。勿論市制施行などの重要問題は十分な時間をかけて末端まで滲透させなくてはならないが、政令によつて来る九月十九日〇時までには人口三万でよいが、それより後は五万なくてはならないということになつているので非常に急な話になつてきたが、将来市制の方向に動いて行くとすればこの際三ケ村の合併市制という線を打ち出しておくことが賢明ではないかと思う。

そうして計画に入れておけば三十一年四月の合併法の効力が消えるまでにそれぞれの町村内でも或は町村間でも充分協議が尽せることになろう。

一、こうした合併についての事情や便法を知りながら皆さんに伝えていないと後刻知つていたのなら一言話してくれゝば良かつた……とお叱りを受けたくないので一言御注意やら御奨めを一応申し上げる……という意味のことを聞かされて三ケ町村の出席者は孰れも町村合併の認識を更に新にして各町村に帰つた……というのが所謂熱海会談の内容の大要で飽くまで真摯に三ケ町村の合併と将来の見透しについて其所信をうたわれたのである。

その会談が何か不純なものであつたかのように誤解してしまい三ケ町村の合併は、瑞穂町が、だまされるんだ……というように解釈してしまい、三ケ町村の合併はしない……と既に結論を出しているのだから、そんなことを今更持ち出して研究することすら不純である……とその後の三ケ町村の合併に関する会議はこと毎にブチ壊わされてしまつていることは三ケ町村将来のため甚だ残念であつた。併し今迄は十五日までという日時に制約されていたので時間的にも無理もあつたのであつたが既に十五日も過ぎ二十日も過ぎたがなにも市制を施行する……という望みは決して薄らいでいないのだから将来の発展に備えることに瑞穂町の心からなる協力を特に要望したい。

秋川の清流
次の間付御座敷
秋川渓谷
料亭 石舟閣
電五日市二二八

西多摩村の答申

西多摩村では瑞穂町がいつかは誤解がとけ、三ケ町村の合併が出来ることを期待し去る十三日村議会を開き左の通り三ケ町村合併市制施行を決議知事宛答申した。

三ケ町村合併答申理由

本村は左記によつて福生、瑞穂両町と合併して市制を施行したい。

一、村の実態

本村は町村合併促進法の規定に基く適正規模の村ではあるが最低規模の段階であり而も財政事情は最近極度に窮迫し臨時的事業は勿論通常行政の施行についても常に支障を来しつゝあるので将来独立は困難な状態にある。

二、地形

三ケ町村共平坦地にして目下都市計画指定申請もなしてあり共に一部を横田基地に接収され同一事情下にある。

三、道路交通

都道は本村より福生町へ通ずるもの及び瑞穂町へ通ずるものあり、交通の便を計るため三ケ町連名で循環バス運転の申請をバス会社へ申請しており、又福生町とは国鉄青梅線及び奥多摩振興バス運行がある。

四、村の形態

福生町は最近商店街となつた農村である本村及び瑞穂町も交通利便に恵まれ人口急増し次第に町の形態になりつゝある。

五、綜合して三ケ町村はほゞ同様な状態にあるので競輪事業一部事務組合、火葬場一部事務組合、又福生町とは伝染病院一部事務組合も経営し、警察署も福生警察署に属し将来高等学校設立その他官公衙の誘致も共に考慮しつゝある状態である。

福生町も都知事への答申は紙面の都合で略したが西多摩村の答申内容と大同小異で三ケ町村合併市制施行を希望して答申してある。

爽秋におくる
タケシマヤ独特の
デザイン
ブラウス
タケシマヤ
TEL-259

株式・公社債
投資信託売買
多摩証券
ニユー福生前
電四二二・五七四

簡易金融
えのき
田村質店

新型　通産省指定優秀車
1954最新型
ベビーライラック号
Baby LILAC
無試験許可制
¥98,000

250cc 進栄号トーハツ号 ジユツトスター号 販売
ベビーライラック 進栄号 三多摩総代理店
ジユツトスター号 トーハツ号 特約店
株式会社交運社
電話 福生276・576 青梅769 八王子1.452

自転車に代つて皆様に奉仕する
国民標準車の軽オートバイCF型100cc
片倉バイク（無免許）

B—F型 2サイクル
600CC 2.5馬力
550.00円
全国統一現金販売価格 79.000円
片倉工業株式会社
組立販売所 清水工業株式会社 モーター部
青梅線牛浜駅前・電話福生64番

西郡婦人生活会館竣工

十月十七日 落成祝賀大運動会

さる六月から工費二百四二万円をもつて鳩和組の請負で着工されていた西郡婦人協議会の婦人生活館はこのほど福生浜に立派にできあがつた。

同会館は二階建木造瓦ぶき六〇坪で一階に百二十名収容できる三十坪のホール、十五坪の相談室兼事務室、三坪のモデル台所となつている。できてみると三十坪のホールではちよつとせまかつた感じがする。

二階は純日本式の座敷になつており結婚式場その他に利用される郡婦人会活動のセンターとなり

生活相談　授産のあつせん生活改善の指導、その他。

結婚相談　、健全な結婚思想の相談、結婚式の簡素化、結婚申込相談

法律相談　法律問題一般

講習会　生活改善、作業料理、生花、茶道、洋裁

なお竣工を祝してまず十月一日に各町村婦人会の会長、副会長、各町村の代表者、建設委員等だけの落成式をうちわだけで開催する。ついで十月九日関係町村長、議長教育委員長、その他物心両面で協力していただいたものを、つぎに十月十七日に福生グランドで会員全員による落成祝賀大運動会を開催することになり各町村役員はその準備に忙殺されうれしい悲鳴をあげている。

福生第二の電気工事は 内田電気商会請負

福生第二小学校新校舎の電気工事は入札の結果多西村森山の内田電気商会に十七万九千三百円で落札直ちに工事に着手した。

昭和橋架橋 氷川町

氷川町では都道第三一八号氷川御岳線氷川町氷川キャンプ場入口の昭和橋架換工事を促進する為千万円の指定寄附を都庁にする決議をした。これによつて昭和橋は本年度中に架換されることになつた。

世界平和観音像の原図出来あがる

多西自然丘陵に世界平和大観音像を建立しようとしている多西、西多摩、福生三カ町村では去る二月平和大観音像建立準備委員会を結成まず大観音像原図を作成することになり、北村西望氏に委嘱制作中のところ漸くその原図が出来上つた。よつて同準備委員会は近く役員会を開き原図により今後の準備の打ち合せ等をする筈になつている。この原図の構造によれば台座が十六尺、観音像四十八尺という大きなものである。【写真は観音様の原図】

廃品再生も立派な事業になる 熊川マルカ製作所

【写真は右マルカ製作所社長の長岡氏と左森田芳松さん】

福生熊川のマルカ製作所は終戦直後より空罐廃品再生を思いつき玩具、其他家庭金物等に再生をしていたものを二十八年十月企業者である福生町志茂の森田芳松氏合併資本金百万円の有限会社にまでのしあげ社長に優秀なる経営技術を持つている長岡常太郎氏を得現在では二十数名の工員によつて毎日横田基地から山の如く出るアメリカ製空罐を更生加工し月産百万円にのぼる製品を製作しているからゴウギなものだ。

又中福生の殿築誠治氏はナイロンの婦人靴下の廃品からナイロン糸を糸巻にとり漂白撚糸して靴下の糸の材料に更生している仕事をしている。

その再生された糸は八王子の靴下工場に廻されナイロンの男靴下として製品化され堂々と市販されている。

仕事というものは頭の使いようで自分の身の廻りに結構ゴロがつている。それに企業的手腕を加えて年中無休の事業として成り立たせるまでは勿論一苦労は免かれない。

福生珠算学校の 珠算競技大会成績

福生珠算学校生徒会主催、福生町福生町商店連合会、福生新聞社後援の第一回の珠算競技大会はさる八月二十二日行われその成績は左のとおり。

団体成績

郎落別対抗（小学生）

優勝　志茂中浜　大手、飯田、貫井、安野　沖倉、森田、青柳

準優勝　本町　関谷、松崎、木下、木村　久下、青木、伊藤

学年別対抗

優勝　中学三年　一、一五五　貫井、鳥海、黒田、森田　吉田

準優勝　高校一年　九七〇　中学一年　九〇五

総合競技（個人）

小学生の部

一	細淵　弘子		五三五
二	六手　憲之		五二〇
	飯田　早苗		五一五
三	関谷　昌代		四九五
	木下　文代		四八五
	貫井美智江		四七五
入賞	木村　博子	5	四五〇
	松崎　和子		四四五
	殿築いね子		四四〇
	安野　初恵		〃
	長谷川己手		四三〇
	沖倉　光子		〃
	久下　巌		四二五
	細淵美恵子		四〇五
	北島マス子		三八五
	森田　春代		三八〇

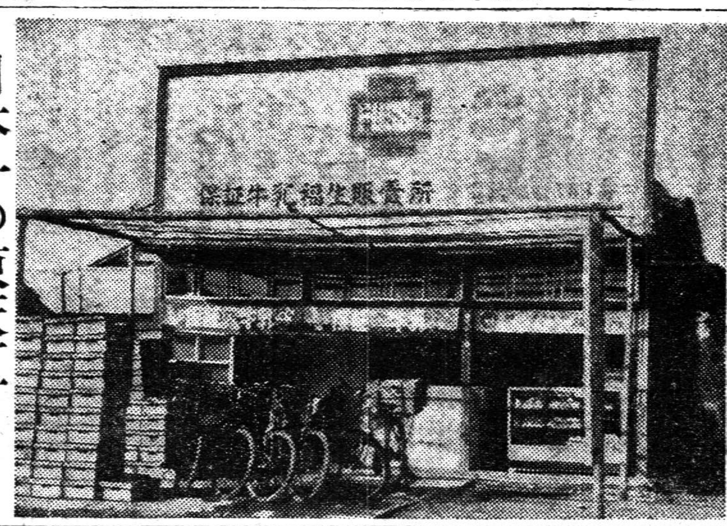
中学生の部

一、	岸野マサ子	2	三六五
二、	栗原　靖子	3	三五〇
	田村アヤ子	2	三四五
三、	松永久仁江	3	三四〇
	増岡　和子	2	三四〇
	岡野　照江	2	二三五
入賞	原　千江子	2	二三〇
	清水　敬子	2	二三〇
	名務　節子	2	二二五
	大舘　勝治	1	〃
	笹本　なみ	2	〃
	清水　幸子	3	〃
	大平　猪之	2	二二五
	大沢　義則	2	二二〇
	土屋　芳子	1	〃
	立川　光史	1	二〇五
	島田　正道	2	〃
	清水ユキ子	3	〃
	野村　和代	1	〃
	細野美佐子	2	〃
	関谷　忠雄	2	〃

選抜の部

一、	貫井　明美	3	二四五
二、	鳥海　秀子	3	二四〇
	黒田　洋子	3	二三五
三、	木村　恵子	3	二三〇
	森田　順子	3	〃
	木村　幸子	2	〃
入賞	太田　輝代		二一〇
	吉田　礼子	3	二〇五
	吉永千代子	3	二〇〇
	細淵　弘子	6	一九〇
	北田　巌	1	〃
	所　友子	1	〃

好評のホモ牛乳 西多摩保証牛乳製品



【写真は映画館通りの福生販売店】

福生乳業の設備一切を買収して設立された西多摩保証牛乳株式会社では販売網を福生、青梅、立川、国分寺、小金井、三鷹、八王子方面に渉り福生映画館通りに衛生設備の完備した福生販売店を通じ地元福生町は勿論羽村、二の宮、拝島方面の家庭に新鮮な牛乳が配達されている。

特にホモ牛乳は従来の牛乳に総合ビタミン入を添加し均質機によつて脂肪球が均質化され栄養の吸収が良く、消化を助け好評を受けている。

同工場の設備は一日二十石の処理能力を持ち将来は乳製品製造工場も設備する計画等もしている。

日本一の東天紅 加住村の荒井さん飼育

滝山丘陵を背景に自然美に包まれた華かな寒村。こゝ南多摩郡加住村宮下に日本一の東天紅を飼育する名鶏家荒井伊之助さんを訪ね飼育長鳴きなどの秘訣を聞いてみた話は抜上り、その昔東天紅は長鳴き鳥と呼び、時を知らせるところから、朝早起きする酒屋さんなどに時計変りに調法がられたものだそうで荒井さんが飼育し始めたのは今から三十六年前の大正八年のことだつた。それから今日迄研究に研究を重ね、その甲斐あつて現在では北は北海道、南は九州までも荒井さんの名鶏が広まるようになつた。それというのは、あの井之頭公園に、展示会並びに鳴き合せコンクールで全国より集まつた名鶏の中から普通七、八秒位しか鳴かないが、なんと二十二秒四回十七秒三回連続に鳴き晴れの日本一として報道陣のカメラのフラッシュをあび、農林大臣賞を獲得したこうした名鶏はどうして出来るのか？　その秘訣は、まず日当りのよい南向きの場所を清潔にすること、常に訓練も大事な一つともいえよう。

なお荒井さんの東天紋はあのすが／＼しい気持で迎える元旦に聞こえてくる東天紅の声は荒井さんの鳥を録音したものを放送しているという。

【写真は日本一の東天紅】

都議出馬 噂さの人（一） 田村幾太郎

学校を優秀な成績で出ても社会の厄介者になつてしまうものもあれば、学校をやつとこさ出たものが相当社会の指導的役割を果し社会国家の有為な人材となつて惜しがられる人物も、古今東西を通じこれまた沢山ある。要はその人がどれだけ社会にひ益し発展と向上に役立つたかということが総てを価値づけるものである。

都議会の選挙を来年に控え出馬を予想される新人は数名があげられていて、そのうち最も有力な顔振れの中に福生町の田村幾太郎氏がある。彼は明治二十七年生れというから当年六十才、世の中のことはスイも甘いも会得し尽し、余生を社会のお役に……と自分からその気持があれば出来得る年輩なのだ。

彼は小曽木村に生れ、十九才の時福生の薪炭商をやつていた田村綱五郎氏の養子となつた。田村家に養子になつて五年目に建築業を始めたが、僅か三、四年で失敗してしまつた。

せつかく開業しその商売に失敗してしまつたが、そんなことにへこたれる彼幾太郎ではなかつた、今度は身を人夫に落し頑々しく働くことゝなつた。その内に砂利の採取販売業、更に土建業にふり替えたのが現在の田村建設のそも／＼の前身となつたが、しこの間二十年の星霜は正に苦難の連続で人生哲学をイヤという程ナメ尽したものだ。こうしたいばらの道は今では大きな原動力となつて、無から有を生む太腹な性格をつくりあげ、頼り得る人物、話せる親父となつたのだ。終戦と同時に横田基地の清掃と土建業を指名されるや、堅実な業務振りは基地側の信用を増し、田村建設工業株式会社の信望はエン然たるものとなつた。

氏は事業を令息の市郎氏に譲り自らは会長となつてその余力を町会議員として福生町発展のために尽し、武陽信用金庫創設、町営グランド、映画館等の建設実現に尽力町をなんとか繁栄させたい……との念願に外ならなかつたのである彼は所謂縁の下の力持ちに満足している男だ、そこに彼のよさがあり常に笑みをうかべだれかれの差別なく親しく話しかけ労働者は勿論同業の土建業者も親父の愛称でなにくれとなく相談を持ちかけて来ている。

現に福生町々議会議長、自由党に属し、五男七女の子福者、

特産 奥多摩の「わさび」と ［九印岩佐の山葵粉

暖気が増してくると生わさびの辛味が減少するという蝿のような強い虫でもこの辛味を含む空気中では、五分間以内に死ぬといわれている夫れ故、吾々の食物等に魚肉のそばにこれを添えると悪変が防止されることが以前から実験上認められている。

この辛味は胃の中に入つては消化を助け、食欲を増進する又吸収され易いというこの辛味は、体内で面白い作用をするというから人体生理にも有効なのである。

辛味にはワサビ、カラシ、ショウガ、トウガラシ、胡椒、山椒等がある。

カラシ、山椒、胡椒、トウガラシの辛味は鳥獣肉の煮物や調味によく、ワサビの方はナマ物、特に魚肉、漬物によく、すしにはワサビの辛味を配され新風味をそえている。

わさびは渓谷の清水に栽培され、水温一〇度－一五度まで平均十二度が適温だとされている。この水温が十八度以上になつたり、泥水が雨の為めに入つたりすると腐つてしまうという深べキだから難かしい。

火山灰でカリ分が多い天城山渓谷の静岡のワサビが発育が良く人気を呼んでいる。

小河内、氷川、古里の三ケ町村から奥多摩の特産として「わさび」が栽培され、神田市場の丸一青果に共同出荷されている。

併し奥多摩の「わさび」の栽培法は原始的で何等改善されておらず伊豆地方より三十年は遅れているというので連合会長である氷川町の小川丈右衛門氏は七月一日より石畳式栽培法の講習を始め、更に品種の改良等に力を入れているから伊豆物と遜色のない「わさび」が生産されるのも遠くはないことだろう。

奥多摩の「わさび」を栽培しているものは

小河内村　三九人
氷川町　六七人
古里村　五二人

で各町村毎に組合が組織され更に連合会があり、その会長は氷川町の小川丈右衛門氏である。

山葵粉の生産と岩佐商店

奥多摩の「わさび」に関連して山葵粉が一ケ月二千貫が生産され全国に送りだされている。

その製造元は青梅線日向和田駅前に五三〇坪の工場に従業員三十名によつて造り出している岩田佐一氏を社長とする岩佐商店である。

社長岩田佐一氏は……

梅郷吉野村に生れ蚕業学校に学び若冠二十五才で商業を志し東京銀座で洋品店を開業一躍老舗を戻り目に東都一流の業者となつたが大正十二年の関東大震災に無一物となつたが不撓不屈の強い信念に生る氏は徒手空拳もつて再起を志し故郷の吉野村に帰り山間の渓谷にわさび田を開墾した。

当時斯業に無経験の氏は地方のわさび栽培者に教いを求めまた孜々として研究した。

大正十三年四月にはわさし漬を創業、昭和十四年四月には山葵粉の製造を開始、爾来たゆみない努力が続けられ遂に独得の製法を完成し今カネ九山葵粉として斯界に名声を博するに至つたのである。

一面氏は常に広く社会を視て他人の言にもよく耳を傾け時代を達観し何時も新しい希望を求めて前進して行つたところにこそ今日着々実業家としての地歩を築き円満醇厚の風格を培つたのでなかろうか

【写真は岩佐工場の一部】

毛糸は信用ある店で
秋冬の新色各種有名品
豊富取揃いました
服生地・洋品・袋物・洋装
雑貨・カバン類・高級化粧品
KOYAMA コヤマ
福生中央商店街　TEL27番

御婚用・衣裳・家具類
是非当店へ…………
石川呉服店
電話福生67番

カメラと材料
現像・焼付・引伸・修理
米原写真商会
福生駅前通り・電話414

外科　産婦人科
内科　性病科
レントゲン科
大聖病院
福生町八…
電話福生…

世界に誇る日本の
蛇の目ミシン
一台で一生幸福!!
福生駅前　福生代理店　電話441
代表　橋詰勝至　自宅370

新刊書籍雑誌
田村書房
福生駅前通り
電話二三九

秋の服地・粋好み呉服
青鹿呉服店
福生銀座通電339

靴は
近藤靴店
福生駅前
電話福生四四六

御商談
御会席
お酒
あたみ

旅行のシーズン
海苔佃煮罐詰類
町田商店
福生駅前通り（電209番）

鮮魚・乾物
二見商店
福生駅前通り　電一三八

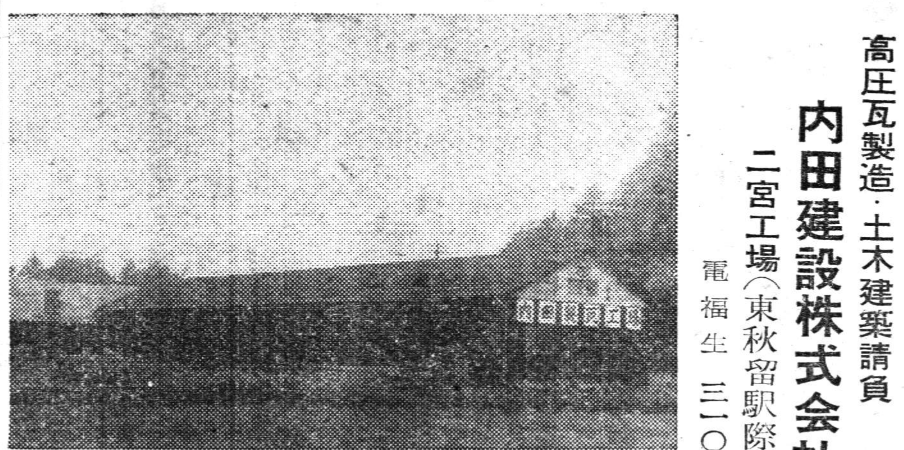
東京製パン
瀬戸岡工場
多西村瀬戸岡
電話七八五五番

螢光燈・板号屋根・板金一式
熊川板金工業所
斎藤武雄
福生町熊川六八五　電話四三三番

シエル
福生給油所
石油製品関係一切の業務
新設場所福生町志茂 408番地
株式会社　桝屋
電話福生555番

社員募集
生命保険の勧誘と集金を希望する方を求む
不問男女二十五歳以上履歴書持参左記へ
日本生命西多摩代理店
福生町　株式会社　交運社

高圧瓦製造・土木建築請負
内田建設株式会社
二宮工場（東秋留駅際）
電福生三一〇番



内田建設ＫＫ　製瓦二宮工場全景

整形外科・内科・外科
レントゲン科・産婦人科
（入院設備アリ）
西多摩診療所
西多摩村役場ウラ　電話羽村二五番

内科・小児科
外科・産婦人科
皮膚・泌尿科
眼科・耳鼻咽喉科
歯科・レントゲン科
福生病院
電話　福生病院　五一四
伝染病院　四一七
結核病院　一五六

狭山建設企業組合
理事長　鳥海邦勝
副理事長　吉岡久市
常務理事　大野福太郎
〃　鈴木竹重
〃　内野利助

株式会社　鈴木組
取締役社長　鈴木寛造
多西村原小宮一七八
電話　福生二五三番

登録商標
嘉泉
長生自得寿千年
田村酒造場吟醸
福生電話三番・三番

毛糸は青梅で
買物上手のお客の来る店
イトハリヤ毛糸店
電話・青梅・一八四九番

家具製造販売
小野木工所
店内製品豊富
どうぞ
御自由に御覧下さい
多西村高瀬
電話福生一〇七番

浅野セメント　日興スレート特約販売店
砂利・川砂類採取・セメント瓦製造
大谷石・鉄平石・土管類・煉瓦・壁材料
衛生便器類・煙突・ラス・タイル・コンクリート製品
其他建材一式
村尾の建材
電話福生121番
福生駅東踏切際

建具なら安野へ
注文・既製建具一式
安野建具店
福生町映画館隣り
電話　福生五三一番

世界的発光塗料で
最大の広告効果を!!
看板と塗装は
ホリエ
福生町銀座通り電話575

ガラスは薄利多売の
宮岡へ
熊川駅際

1954毛度新製品
オーバー特売中
特価純毛￥3800￥4500
島田洋品店
本店・福生駅前大通り（電・福生116）
支店・拝島駅前通り（電・拝島109）

花かつを製造発売元
丸豊鰹節店
福生町銀座通り牛浜電話五二三番

早い安い確実な小荷物自動車便
東京　八王子　川越　急行便　直営
中国　関西　中京　関東　東北　連絡便
遠方のお荷物も日本縦断連絡を御利用下さい
西多摩唯一の営業用トラツク小型
西多摩運送株式会社
福生営業所（電話257 551）

日本一健康優良児 第一次審査に合格
福生第一設楽いね子さん

朝日新聞社主催で毎年行われている「日本一健康優良児」の第一次審査に二十三区、市、郡代表六十名中から二十五人が選ばれたがその二十五人の中に福生第一小学校六年生、同校PTA会長、町会議員設楽美知氏三女設楽いね子さんが二十日行わる第二次審査に加わることになつた。

尚いね子ちやんの体力はクラスの子では最高で

身長　一五二
体重　四〇、五
胸囲　七一

一般学科は上で珠算は三級、習字は入選している。競技では走幅跳二米二、五〇米、八秒三、スポンジ投二九米でいずれも優秀である

【写真は設楽いね子ちやん】

東秋留小川と雨宮の秋祭

東秋留村小川、雨間両部落青年団では、祭の九月二十八、二十九の両日奉納歌舞伎ならびに素人演芸会を催す。

その一　小川青年団主催で地元小川増三郎一座を招き奉納大歌舞伎を前夜祭の二十八日熊野神社で催す。

その二　雨間青年団では舞踊、劇等盛沢山の素人演芸を二十九日クラブにて催す。

福生駅東口道路 簡易補装工事 大野建設請負

大きな沼が道路の真中に出来て雨道は通行人は勿論両側の店舗は戸を開けてはいられないという悪道路福生駅東口前の道路延三四三㍍が地元の十五万円の指定寄附があつたので都の補助金十四万円、町費から二十九万三千円を支出し総工費五十八万三千円で大野建設が請負い、この悪道が簡易補装されることゝなつた。

五日市町で四ケ町村合併 事務打合会

五日市町を中心として合併を決議した増戸、五日市、戸倉、小宮の四ケ町村は去る十五日五日市町役場に地方事務所の係官を招き合併手続の事務打合せ会を開いた。

福生町青年団 支部対抗運動会

第九回福生町青年団支部対抗陸上競技大会は去る九月十九日午前九時より開催された。前日の台風のためグランドが使用出来なくなつたので中学校庭に変更され各種目が漸次進行支部採点成績は

一位　本町　一六二点
二位　志茂　一四六・五
三位　鍋ケ谷　一四四・五
四位　加美　一二一点
五位　木浜　一一七点
六位　南内出　一一六点
七位　長沢　一一六点
八位　永田　九四点

の順であつた、本町の勝利は日頃の練磨と昨年度支部を解散し、新らしく支部を編成して以来は福生町青年団の原動力となりつゝある事は幹部の努力に敬意を表すると共に喜ぶべき事である。

アサヒ地下タビ
アサヒ靴スリツパ
履物・和洋傘
内田のハキモノ
福生駅前・電話441

九年振りで遺骨帰る
中福生 小林義雄君

終戦後八月二十日ソ満国境虎林でソ連の攻撃を受け戦死した状況が帰還した戦友によつて詳になり遺骨が十六日午後一時三十六分福生駅着で帰還した。

小林義雄君は福生駅前桝屋に勤務している小林文六氏の二男で十八年四月早大を卒業と同時に入隊、北鮮に渡りソ満国境の東安省虎林ハタラス部落に国境監視についているうち終戦となつた。

終戦と同時に当時小林見習士官は部下約三十名（邦人若干を含む）を率いて本隊へ集結を急いだ。

八月二十日頃未明の勃利南約三十粁の山中のハタラス附近に到着した、当時満人一名を道案内として先頭に渋谷監視哨を、後尾に川口分哨の人員の順序で一列で前進しつゝあつた午前四時頃未だ夜の明けやらぬ頃先頭がハタラス部落の前方約五十米附近に到着するや道案内の満人が部落に逃げ込むと同時に部落の東端に潜伏待機していた土匪約四、五十名より軽機及小銃の急襲的射撃を受け同時に我が方は死傷者を出し悲惨な状態となつた。両監視哨隊の人員は不利な態勢のまゝ敵に抗戦したが夜が明けると共に至近距離より優勢な敵火力に圧倒されて逐次戦死し午前七時には遂に一名の応戦する者が無かつたと一行中危く高梁畑に逃げ込み運良く本隊と連絡がつき本国帰還した五、六名の戦友によつて戦況状況より、戦死と認定されたものである。

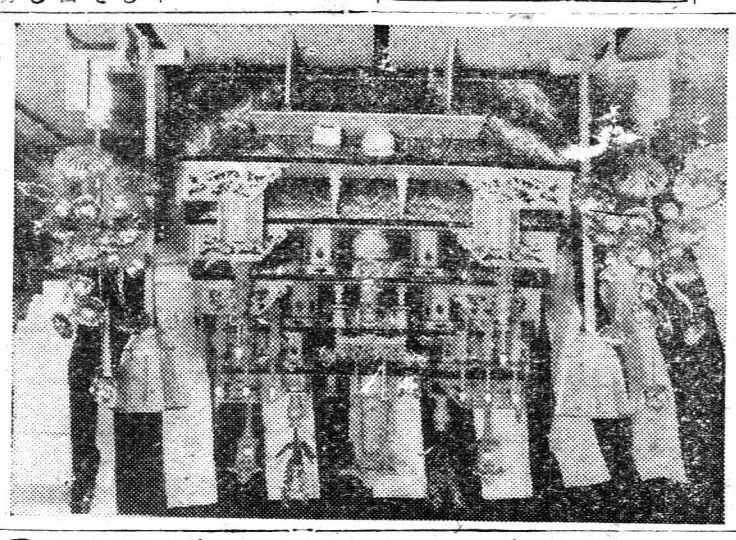
【写真は戦死した小林少尉】

時計とメガネ（検眼室完備）
井上時計店
福生駅前通り電話363

福生農協で葬祭事業開始
一般の方の利用も歓迎

福生町農業協同組合では本年度新規事業として葬祭事業の開始を計画中のところ漸く一切の整備が整つたので去る十四日より左記により店開きをした。

勿論この事業は組合員を対照とし生活改善を目標としているが一般町民各位の御利用も歓迎している。



一、葬祭施設利用料

施設名	数量	利用料	摘要
祭壇五段飾	一式	二、五〇〇円	運搬飾付共、地区外は五〇〇円増
同　三段飾	一式	一、二〇〇	〃　〃　三〇〇円増
霊柩車	一台	五〇〇	車庫引渡　〃二〇〇円増
竜頭	五ケ	一〇〇	布腹付
小天蓋	一ケ	二〇	
施主花	一対	二〇〇	
棺覆	一枚	五〇	

二、販売葬具品

寝棺、骨箱、骨壺、高張、野興、塔姿、膳、香呂、燭台、四花、位牌、念珠、杖、帷子、足袋、草履敷菰、旗各種、帳面各種、その他葬具一式、大人用上下平均二、五〇〇円位、小人用上下平均一、六〇〇円位

ハゼ釣大会 十月十日

福生町釣クラブでは来る十月十日品川沖にハゼ釣大会を催し賞品多数が準備されている。

一般の参加を歓迎し会費四〇〇円但し電車賃等当は自分負担で申込場所は福生ストアー内福生釣具店へ。

健康保険歯科医
木村歯科医院
福生町銀座通り　電話五六六

秋の装いは呉服部で
高級呉服置替取揃
洋品文房具
株式会社　和泉屋
電話五月市三番

土木建築設計施工
大野建設株式会社
代表取締役　大野行夫
電話福生四七七番

砂利・砂・採取
砕石・ブロック製造　販売
遊佐石材工業所
遊佐吉重
西多摩村川崎・電話羽村四番

福生交通株式会社
福生タクシー
電話・福生五二一番

アサヒ靴・各種
森田履物店
多西村門前通り

農機具各種井戸ポンプ
細谷ポンプ工業所
多西村瀬戸岡・電七九一五

土木建築請負・設計施行
株式会社　竹達工務店
代表　竹達荘平
福生駅前・電話福生一三一番

株式会社　花屋呉服店
五日市町電話五日市十一番

株式会社　栗原呉服店
五日市町電話五日市二十二番

飼料・肥料・雑穀
建築材料一式　師岡商店
増戸村山田・電話五日市二六八番

歯科・口腔一般
健康保険医　沢田歯科医院
東秋留二宮・電話福生五二八番

おいしいカツ・コロツケ
牛豚精肉　村野肉店
東秋留二宮・電話福生五五〇番

電気工事請負
内田電気商会
多西森山多摩橋際・電話福生三〇六番

医薬品・家庭薬
農薬・体温計
志堂宝
西多摩村田ノ上・電話七二番

多満自慢
特約店　野口屋酒店
電話二〇六番

砂利砂採取販売
高崎砂利店
福生町永田橋際・電話三三六番

青梅製氷株式会社
福生販売所
福生病院通り電話六五番
永田工場・電話五六五番

出前迅速
ひもかわ・うどん・そば
並木屋
福生銀座通り　電話一二七番
牛浜支店
牛浜駅前・電七四五五番

アルス編物研究所
田中志け子
昭島市拝島町坂上

紳士服・婦人服
シーバート洋裁店
福生第一小学校通り

特製食パン
〃　ブドーパン
〃　アンパン
生菓子
有限会社
土屋製パン所
電話227番

神葬祭用引菓子
花月堂菓子店
瑞穂箱根ケ崎・福生町熊川駅前

御祝・仏事の引菓子は
根岸屋菓子舗
電話瑞穂五番

各種モーター取次
電気工事一般請負
井上電気商会
西多摩中学校前・電話羽村一三〇番

西多摩土健工業協同組合
代表者　羽村安平
電話羽村五〇番